ひとせ事

全

911.3
ヒ

# 太白堂孤月評月次混題句合五点以上

天　六　六　六

六　六　六　

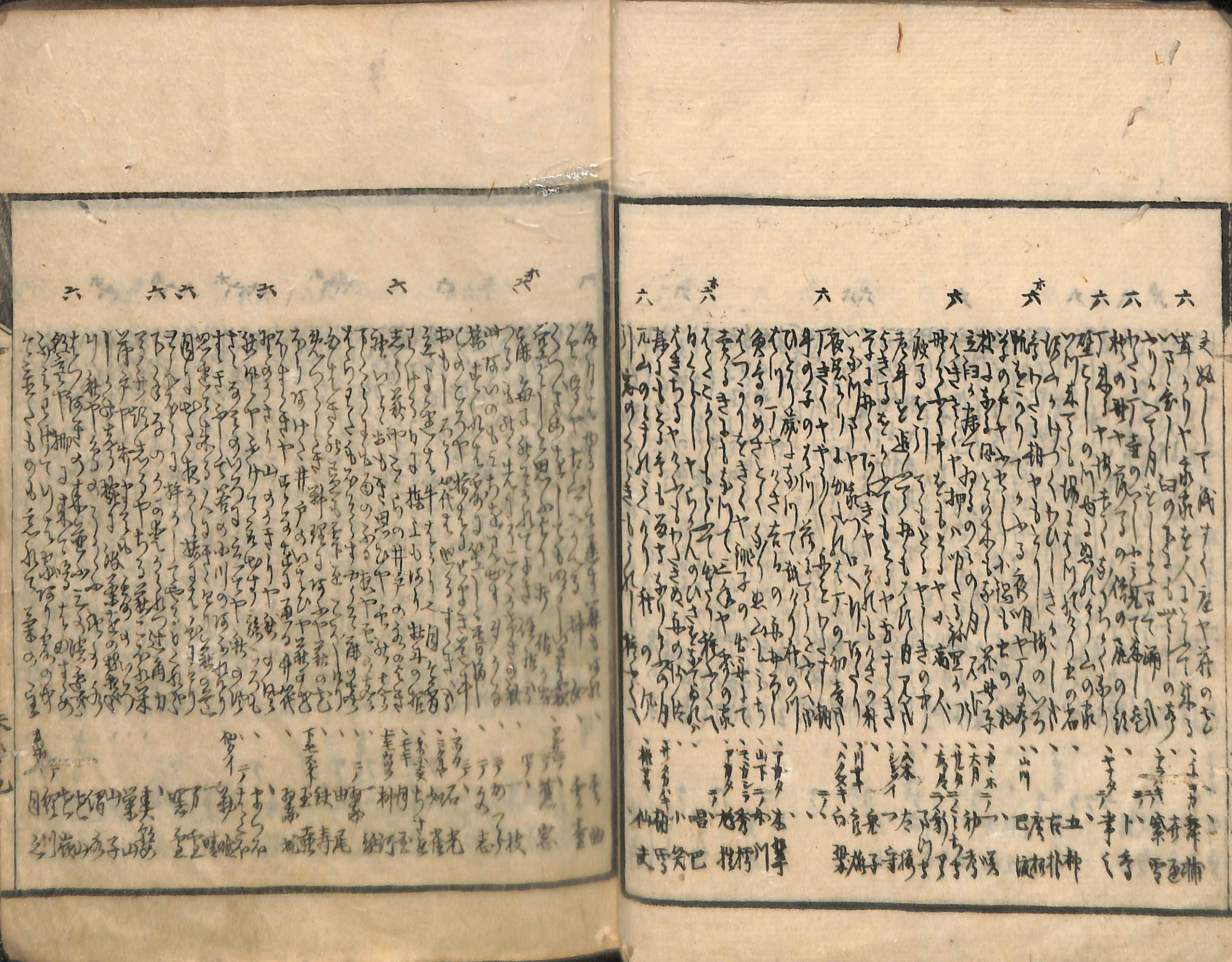
六六　六六　六六　六六　六六　六六

君陸　重之　高石　東重　玉水　宮秋　檜笠　菅秋　檢査　柳木　夕月　山中　杜若　桂後　藤夏　菜清　山秋　初夏　石井　白羊　元素

六六　六六　六六　六六　六六　六六

三砂　笠月　千百　千百　八全　千百　小夕　千百　下ヲ　清秋　稀稀　楓浦　蓋江　白色　白羊　元素

六　六　六　六　六　六　六　六



# 天地人

孤月 評月次混題句合 以上 寛永九月分

東都 素十

翠二

武スヂテ對月

句坐遲来共到来順

六十六　秋の夕　担木　老人　桂　老人　月　山　慢　老人　蘭芝　白葉　山水　雲速

六十六　秋の山　尾上　王者　布留　古　七夕　ふね　四ツ　約束　武士　綿　亀　芙蓉　君　千八夕　寿　起

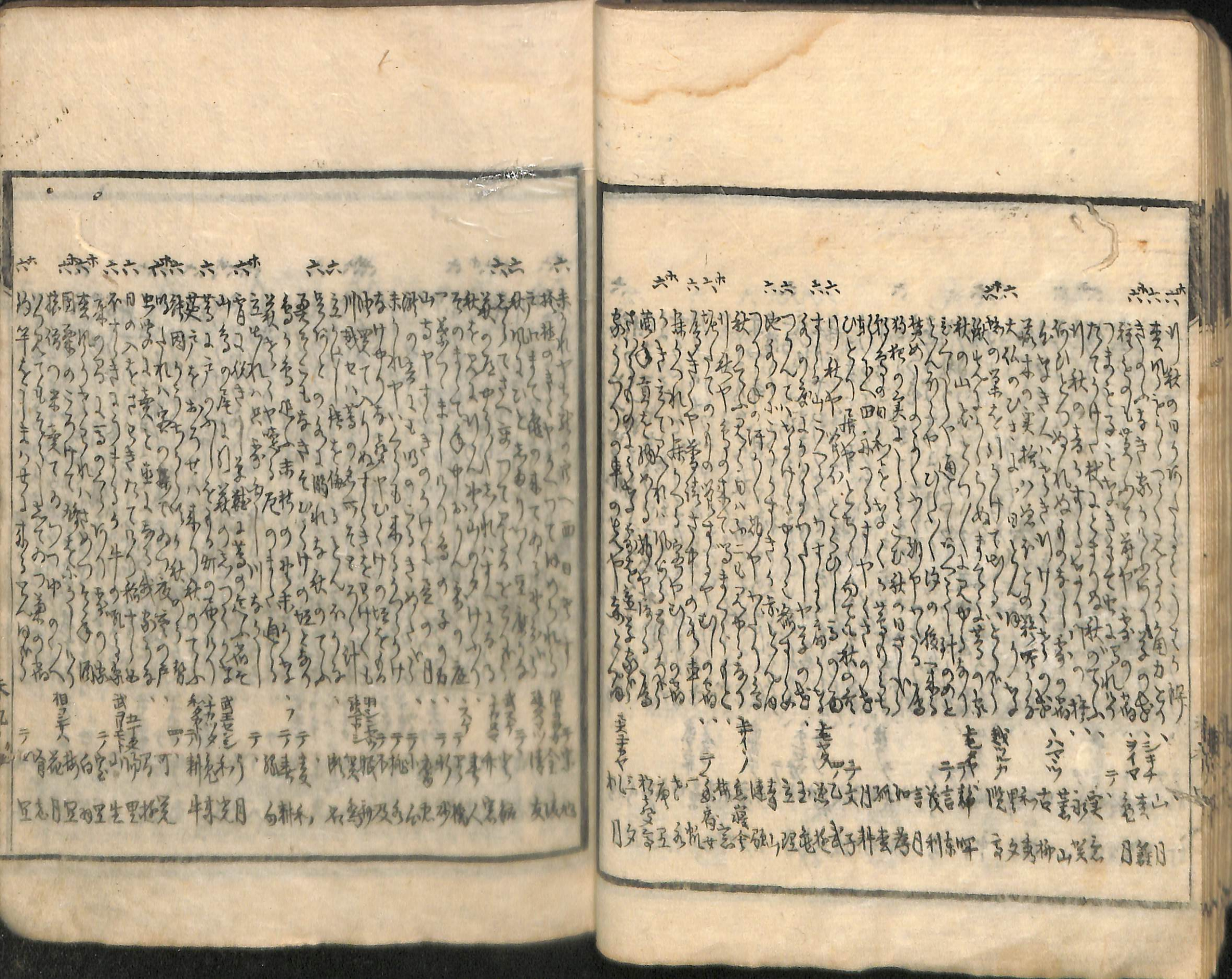
六十六　秋の山　山　中　の　猿　師　の　色　ホイ　ヨミモ　鶴　忘　月　冥　滝　水　山　雲　速

六十六　秋の山　木　横　ぬ　れ　ば　米　の　こ　ま　ぬ　ば　の　ま　ま　ま

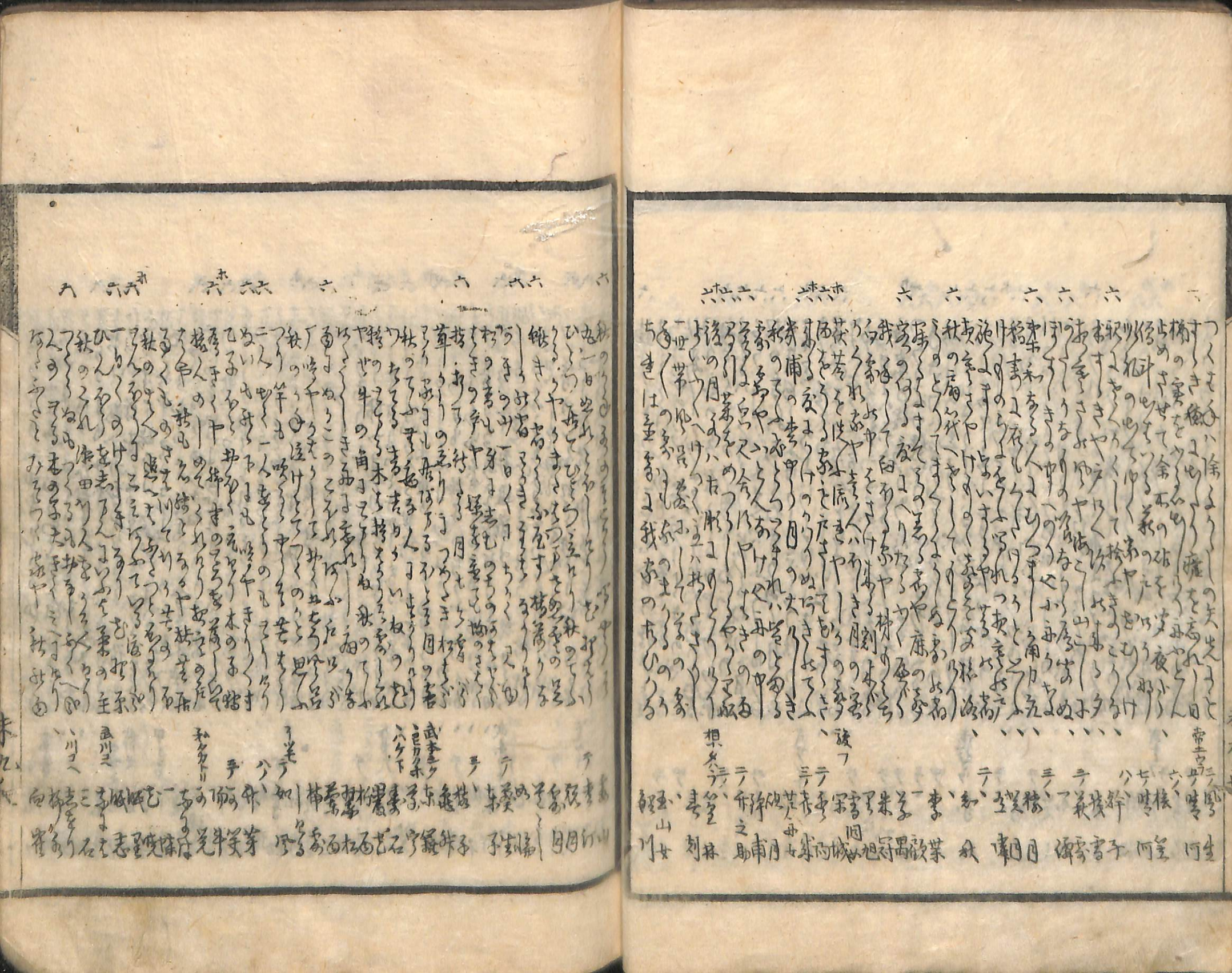
六

六

六



六ホ　秋の雲みるゑひこうるうよりうゑ
六ホ　ゑとうたてをミる立秋のふて
六ホ　あうるひきるうう格陸をうとうる
六ホ　秋ゑるもリのるよきあさちうる
六ホ　萩の戸やわ雁てはきあのほれ
六ホ　ゆゑれまれてちの谷ゑるゑ夜ゆれ
六ホ　ゆゑあ大きるゑ夜ゆれ
六ホ　わくセたうる秋ゑ豊ゑ斗
六ホ　ゑるの夢のくれますてリ
六ホ　ゑの古巣ゑ
六ホ　稚ゑ
六ホ　白家の中や夜あ
六ホ　ゑれのこわれ森ゑ
六ホ　雁あの実のあ
六ホ　ゑとゑ夕ア
六ホ　ゑのゑ
六ホ　ゑ
六ホ　ゑ
六ホ　



造化もせず　武モラ九十九
房少子　芦
つる　芦
桃　仙タイ
柳　中
亦　巴
美人　奔
武
下ニ
四ツ
月　車
賢　弁
屋　敷
子　行
石　陳
月



武仁ヲ
水　角
棕　竜
枝　車
近　第
ホ
ヲ
行
家
北
車
二
白　朗
白　羊
白　邑
東　風
三三タ
遠サカラ　芦
五　亜
吉　耕
雪
東八戸
白　鳥
海　吉
毛　高
米　菓
菓　子
菓　子
菓　子

いまつまや　ふのみなと　入
秋の夜や　れこそまち　月の
山位や　月の下　うきの
月を　つむてもす　秋の
月　夕　浦の　秋
月　又　可泊　紫綬
月　仙タイ　是
月　武蔵野　後
月　里　計
月　遠山　橋
月　相アヒコラ　白
月　正モサルタ　苦
月　遠山サキ　乗
月　相アヒコラ　海
月　正モサルタ　東
月　遠山サキ　海
月　相アヒコラ　乗
月　正モサルタ　海
月　遠山サキ　海
月　相アヒコラ　海

## 天　地　人

六　襲　嶺の色すゝ山嶺の色すゝ　東都　木鍾

六　外ハ点以　月の宿り　上七五ラ　得一

六　外ハ点以　月星の影　武ホツカト　蝶翠

六　句坐選来共到来順　琴　石

六　名月の宿り　羊　石

六　秋の宿り　武ホウ　雀鳥

六　日くれの宿り　遠サカフ　亀

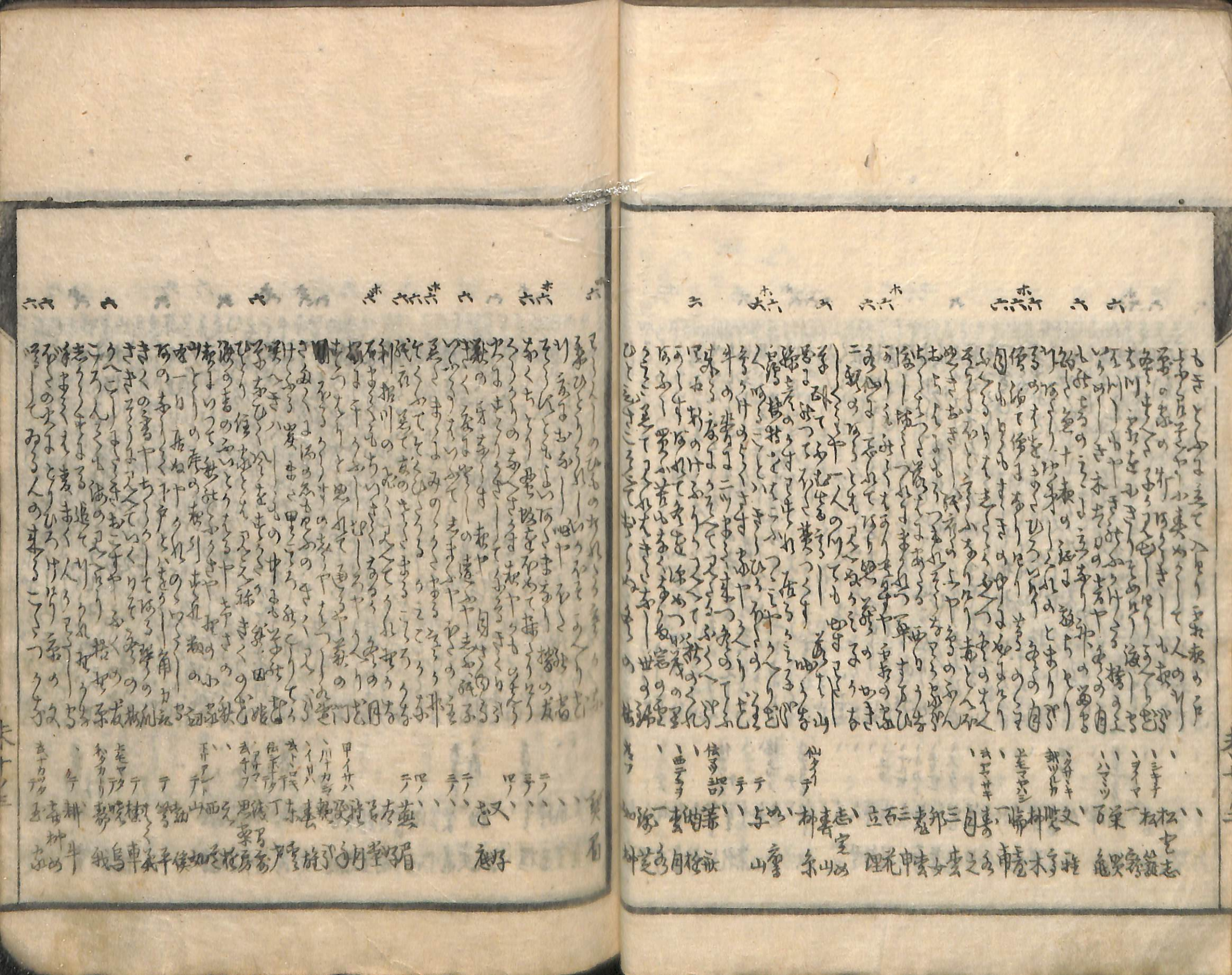
六　耳よりの宿り　武ホ　杜宣

六　世の中を　甲フ　久

六　森の宿り　赤ヤタ　丘

六　この流れ　寿　里

六　むくひ込　里　松

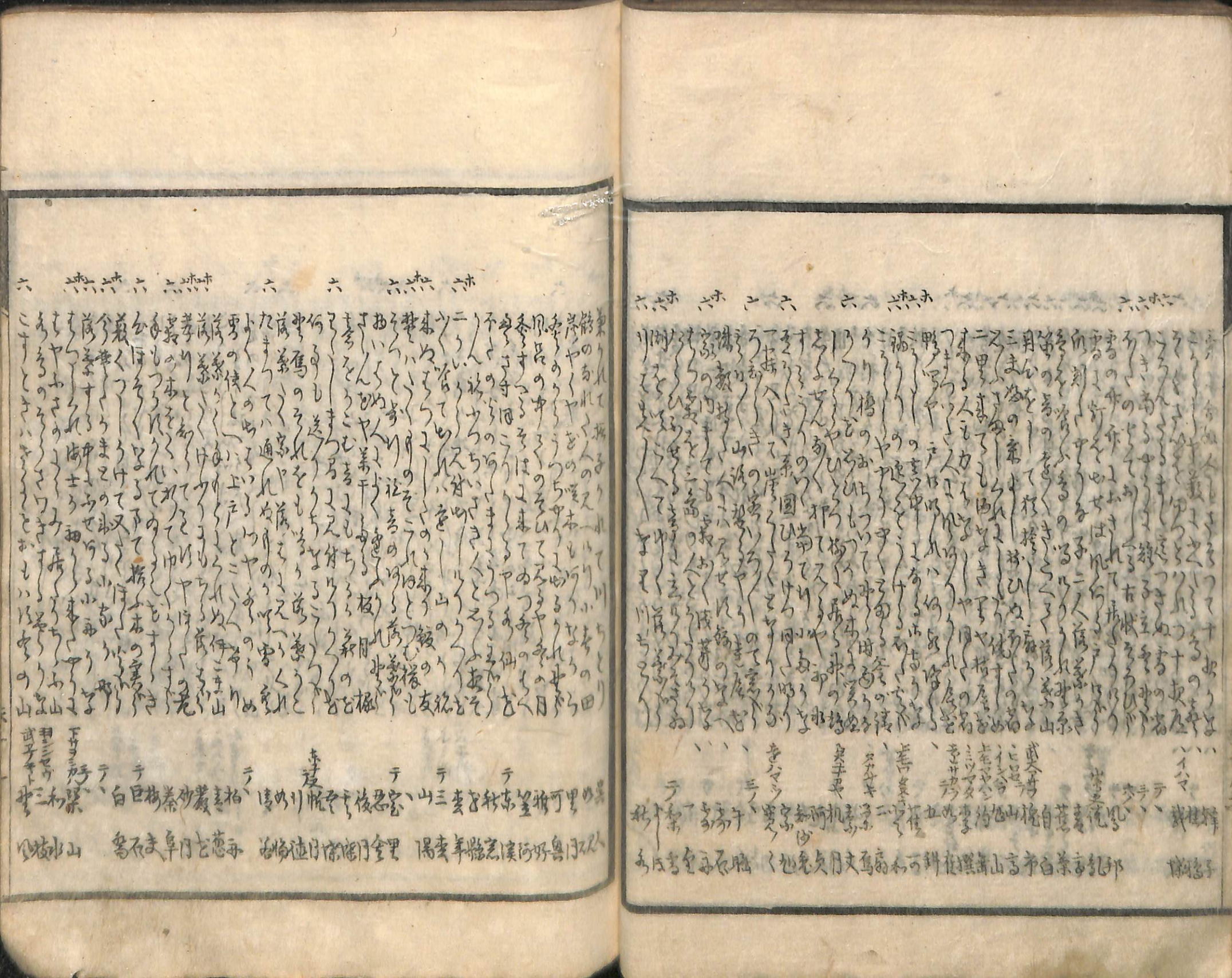


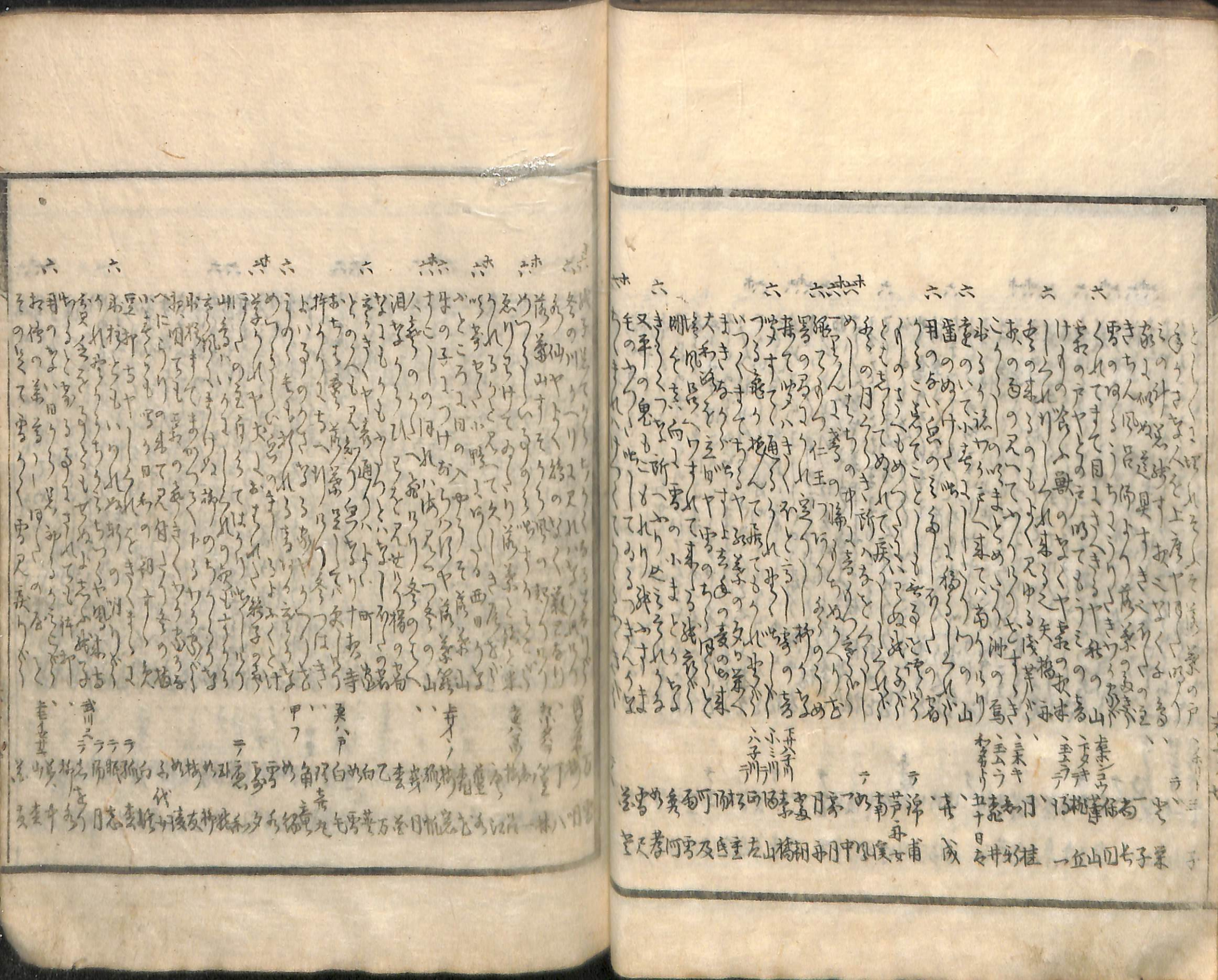
せきれこ迫ひ[illegible]西日[illegible]

[illegible]

[illegible]

六 ちはやふる神の御代にもかかるためしは聞かじ
六 ちはやぶる神の御代にもかかるためしは聞かじ
六 ちはやぶる神の御代にもかかるためしは聞かじ
六 ちはやぶ





天　東都　三狐
地　仝　桃餘
人　仝　我風

句坐遅来共到来順

武ヨウカ　蒼　東陸　柳　土ハマツ　木山　亦　花　亦　月　仝　花　仝　月　仝　月　仝　月

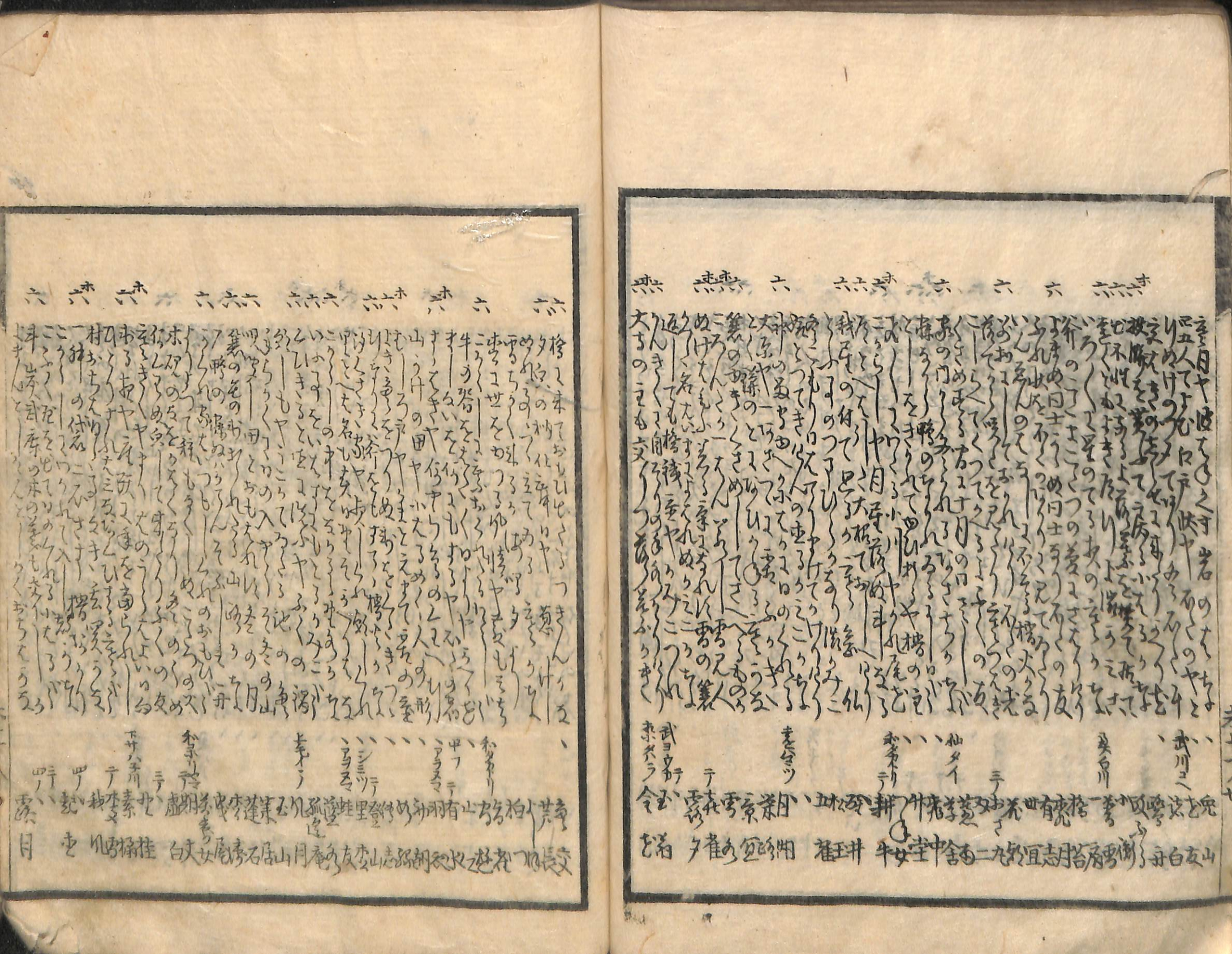
六ホ 二りの余り夜の明てうれたいつのかつ
六ホ 後まふ入てかたらひ
六ホ 小まもりみてもりて
六ホ 雷生て吹
六ホ あらしのたてやかたの
六ホ 夜の明て
六ホ 日の出
六ホ 雨
六ホ 雲
六ホ 霧
六ホ 霜
六ホ 雪
六ホ 氷
六ホ 霜
六ホ 月
六ホ 星
六ホ 月の出
六ホ 月の入
六ホ 月の光
六ホ 月の影
六ホ 月の雲
六ホ 月の雨
六ホ 月の雪
六ホ 月の霜
六ホ 月の氷
六ホ 月の

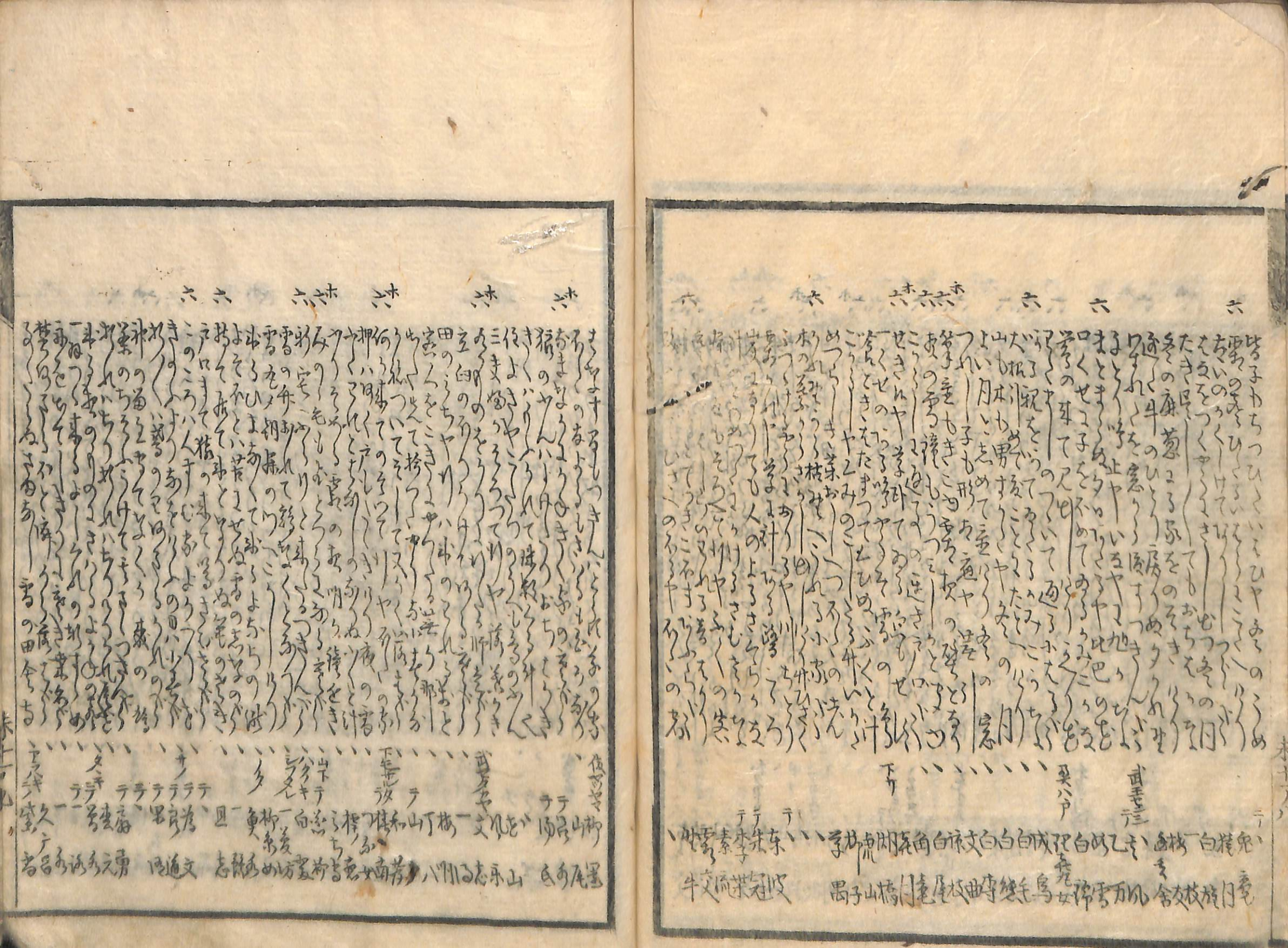
銚セン　山　毛　泉キミ　文　古　茅　丈　花　芋　石　柳　松　鳥　花　里　沙　樹　遠　梅　子　二　十　二　八　斜　仕　元　思　案　房　巴　春　堂　り　鳥　花　丈　芋　石　柳　松





内　ウ　外　ウ　祢　ウ　ム　ル　用　志　延　刃　山　ル　ム　ル　ル　ル





六　六　六　六　六

柏舟　駕籠　車　三谷山　里人　雑経　実説　言葉　谷　守　不武　小友　今茅　洗　秋　梨　栗　石　兄

催主文　判者　孤月

深川六新堀不動尊奉納員盃

八聚園詳

天十五点　地十四点　松月庵　人日九　進可

五点と初

蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭

蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭　蛙　吟　蘭

来蘭　湖舟　二ノ　松月庵　会　孤左右　金車　庵浦　竹迷　之尾　孤　みつ所　雲山　沖橋

[illegible]

東絨　三ノ　老蝶　服子　二ノ　真張　水田　三ノ　つま女

全　二ノ　蕉可　二ノ　全　三ノ　全　四ノ　全　五ノ　全　俊来　馬英　素明　三ノ　大樓　奇の赤

佳父　川口　二ノ　糸女　全　暮月　肥かつ　全　玉志華　布川　二ノ　つま女　ちち風　さち九　全　素英

花五点うら

芳わ遥の戸口の朝出し　素蘭　三ノ　一方　孝山

ちるやもゝ大きなる坊主人かゞ
咲まとゝのふ云めぬ　松月
巻中秀逸若盛ふ邪

夕まぐれつゝと鳴ぬ鶯の
朧月あるかしら入相の
ゆ夫嘯　東藤　てらめぬ蛍
蛍ちる人ふ〻かゝ時ふ小蝶か
あゝ　金子　人ふ〻　貝の殿
殿ちゝを　抜しゝ　ふ〻ゝ小ゝ
本堂の馬ゝ　米朝　辛夷咲

二ノ　李昭家　一雙

二ノ　一方　東ゝ浦　服ふ　ゆふ女　蓬丙　徒父　柳川

軸

ちるの行水　涼しさ
ちんちゝ　ゆふ

八角園

未三月

深川六新堀不動尊奉燈月並
八角園評　夕貢八三百余吟　催主　如竹　笹丸　素英

天　十五点　飛左古　地　十四点　柳也　人　月順　白川

五点之部

涼しさや　松月　上行月の雲
かたらふ行あるゝ蓮の門　東蓋
敷き葵中へ　ゆ　ち　四荷飾ふ　芭水
いかも待ぬ　ふ　ハ　ふ　号魂　二ノ　秋蝶
東さゝ　ゆ　庫裏を取八人ゆ　二ノ　仝
行ふてちゝ　ふ　蓮ふ　ゆ　仝
ゆふ　ふ　ゆ　馬戸　みからむ　執　桃春
藻の蓋や小更の氣八峯小ふ　外濱
かゝ　ゆ　ゆ　いゝ　ゆ　ふ　山　寺　二ノ　仝
蜻蛉や目に　ふ　ゆ　月　ふ　大礎
賀　義　ふ　ゆ　月　ふ　ふ　世　白　ふ　二ノ　仝
ふ　ふ　ふ　蟹の這　ゆ　ふ　ふ　庄内　向義堂
甫　雪

[illegible]

、其月　白川　祐口　カラッ碁月　蕉可

二ノ　空　三ノ　仝　擬双

一方　三ノ　仝　四ノ　仝　磯人　夢蝶　二ノ　仝

李梅　井蛙　魚川　指月　流龍古

西日さし　和漢の山や蝉しけ

紫陽花や　あかりて　義す　朔の雨

蚊帳　あかに　窓ゆ　石あ　苔の色

山ゆる　月　朋の　ふ　ゆ　蓮の　雲の

古蓮　一　月　八　鶏　きて　若葉の

## 花五点之部

仝　仝　みつら　蓮丸　友山

李門　勇士　柳也　同義堂

二ノ　磯人　花蝶　日光　蝶山

## 巻中　秀逸　昔咲之部

二ノ　芭水

家　ふ　ら　に　川　ある　墨　さ　水

末の葉に田車踏る雲入峯
かゝ古き一日時て紅葉のなや
追分によられし馬やさつ〻ま西
日れ芋やあてくらみて白牡丹

柳也　白川　樂酔
庄内　カ三ノ　暮月
杢山　素英
仝　如竹

軸

遅う田を植るあてやや　竹老義

八朶園

未四月

深川六軒堀不動尊奉燈月並

夕負三百吟　催主　如竹　笹丸　素英

八朶園評

天　十四点　下徑園　地　十三点　笹丸　人　十一点　其雪

五点之部

山ゝのえハ志ゝ毛人苔の花
草ふ志ゝ西のおりや紅蓮
灯のませハ人も塔ゝ夕すゝ
ゝと掃部ゝ仏ゝか木のゝさ
ゝ形自ゝ樹ゝ志ゝゝ多振き
胡西れなゝ西中ゝきて見さる
田のえゆゝ者ゝ行ゝ芋の月
かゝ行て戸口ハ風ゝ西をゝゝ
あのまさゝゝる小ゝ灯ゝ灰たゝ
むゝゝゝゝ西波へゝるむゝ道
岩金ゝゝゝゝすゝの樹れ食
芋山ゝ岩ゝゝゝゝれ言ゝゝ
ゝゝ西れ蛛ゝすゝ市ゝ尚

三ノ

丰橋　一瓢
李門　下徑園
太碓　勇志
叶春　閑松
信附西　柳也
仝　勇士
松山

八月四日夜中之うと大井川
[illegible]
入梅[illegible]
[illegible]

軸

蟬鳴や　何[illegible]

未皐月

八角園

[illegible]　雪志　信交　湯松　遊可　蕉雪　浚来

深川六軒堀不動尊奉燈月並

八角園評

催主　笹丸　素英　如竹

天　十一点　亀文　地　十一点　素蘭　人　月頃　蕉可

[illegible]

李門　下徑国　米童　亀文　素蘭　仝

雪士　深酔　春幸　魚川　みつら　双[illegible]　笹丸　也　柳　月　昔

夢蝶　蕉可　仝　暮月　仝　太橘　来鶯　亀文　仝　梅香　太礎　春蝶　秋士　勇英　素可　蕉方　一山　正　寥衣

花五点之部

草にかけくる馬ゆくを見つ春ゆくやいつくの山　橘

蔭雀やさはあけうらの七日かなしの言の葉くさえて世の風

巻中秀逸昔物之部

閑古るいま知人はなくしきりて

蛙なくや小山也巻ハたいの石

ゆふくや懐うしけしきく西風

清閑の言ふなりくくしきあるし

ちらしきりに吹きちりむや芦の響

六月や草見うるはけ日入りくく

ちくくもちりて蛙なく上蛙少

灯ふくせて草の石ゝうや門涼

軸

かたちうえ天竺　杉邨　草窓

末六目

閑月庵竹蚊評三題句合

七夕披　あさくさ　むし　ちとせ　乙樹　蓮翠

天　松陰地　一九人　酒杯

番外

あや彦　ふる宏　源宏　戻里　市金　六和　布山　玉英　雨杉　玉秀

杉山　故睦　仝　源宏　義宏

酒杯　川儀　一毋　佳堂　由丸

巻中九五印

むしあるくやすくくのあるもくくのあるもくくのあるも

秀吉

七夕や高きえさやまの姫の姿
七夕や会ひそめしは昔の風か笑
七夕や会ひそめしは昔の今
七夕や会ひそめしは昔の今
七夕や会ひそめしは昔の今
月高く星あつまりて星の会
月高く星あつまりて星の会
月高く星あつまりて星の会
あきぎりの月にすみやむ夜の
むのきのもとにはおのもむ
むのきのもとにはおのもむ
むのきのもとにはおのもむ
あきぎりの山の面へ山しらき
あきぎりの山の面へ山しらき
あきぎりの山の面へ山しらき

昭和學會
短大
第6343号
受入
昭36. 3. 14

# 全判

## 兵庫百景之題

五点ノ内

[illegible]

[illegible]

[illegible]

# 後撰集